

## 災害廃棄物（漁網）の試験搬入の結果について（箱根町）

岩手県洋野町から災害廃棄物（漁網）を受入れるにあたって、9月12日（木）に試験搬入を畑宿自治会や芦之湯自治会などの立会いのもと実施しましたので、その結果についてお知らせします。

- 1 実施日時： 平成25年9月12日（木） 9：30～11：00
- 2 場 所： 箱根町環境センター及び第2一般廃棄物最終処分場
- 3 搬入物： 岩手県洋野町で発生した災害廃棄物（漁網）
- 4 搬入量： 漁網の入ったフレコン（大型土のう袋）2個（3t）  
※なお、フレコンとは、フレキシブルコンテナバッグの略称です。
- 5 作業内容： ① フレコンを積載したJR貨物コンテナの空間線量率を測定  
② コンテナを開封しフレコンを荷降ろし  
③ フレコンの周囲の空間線量率を測定  
④ フレコンを開封し、内容物の確認  
⑤ フレコンの漁網の空間線量率を測定  
⑥ フレコンを搬送用トラックに積載し、計量  
⑦ 最終処分場に埋立
- 6 フレコンの大きさ等（1個の大きさ）
  - ・寸法 横約1.6m×縦約1.9m×高さ約1.5m
  - ・体積 約4.6m<sup>3</sup>
- 7 見学参加者： 23名（地元自治会、町議会議員等）
- 8 試験搬入の様子  
JR貨物コンテナの周囲及びフレコンの周囲の空間線量率を測定した結果は、受入条件を大きく下回っていたため、フレコン内部の漁網の様子を確認しました。  
その後、漁網に異物等がないことをチェックしたあと、当初の予定どおり、最終処分場に埋立処理しました。  
別添の作業の様子（写真）をご覧ください。

## 9 試験搬入の結果

### (1) 空間線量率

災害廃棄物（漁網）の受入条件にある空間線量率については、岩手県洋野町での測定のほか、箱根町でも測定を実施し、2重のチェック体制を行っています。今回の試験搬入時の測定結果は次のとおりです。

単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$ （マイクロシーベルト・パー・アワー）

測定対象	測定結果（平均値）	受入条件
JR 貨物コンテナ	0.024	毎時 0.19 マイクロシーベルト以下であること (国の基準と同じ)
フレコン (H1-1)	0.024	
フレコン (H1-2)	0.030	
漁網の上部 (H1-2)	0.022	

※空間線量率は、自然界の放射能物質を含めて測定され、町環境センターでも $0.05\mu\text{Sv}/\text{h}$ 程度あります。

※なお、フレコンH1-1は、異物等を除去したあと小分けした小山（約 $20\text{m}^3$ ）を識別するためにH1、H2・・・と順番に付したH1の小山から詰めた1個目の袋のことです。

### (2) 内容物の確認

自治会長や見学者が順番にフレコンの中の漁網を覗き、問題のないことを確認しました。

### (3) 計量結果

今回、試験搬入した漁網の計量結果は次のとおりです。

フレコン (H1-1)	1.4 t	なお、今回の試験搬入の 3 tについても受入量 100 tに含めます。
フレコン (H1-2)	1.6 t	
計	3.0 t	

## 10 今後の受入れについて

今回の試験搬入では、漁網の安全性等について町民の方にご理解いただいたことや受入条件に適合していることを確認できたことから、今後も引き続き、災害廃棄物（漁網）の安全性の確認を行いながら適正な埋立処理を実施していきます。

○ 平成25年9月12日から12月まで（予定）

神奈川県や輸送機関との調整を行い、3期にわけて受入れを行う予定です。

- ・ 第1期 9月12日（木）～13日（金）（受入れ完了）
- ・ 第2期 11月予定
- ・ 第3期 12月予定